

永岡小学校の3年生、4年生の英語の授業

5年生、6年生には教科書がありますが、歌を歌ったりゲームをしたりすることもあります。4年生より上の学年になると歌う機会は減って、代わりにたくさんのアクティビティをします。ですから、学年があがってもすぐ慣れるように私は3年生、4年生でも、5年生や6年生がしているようなアクティビティを考えるようにしています。

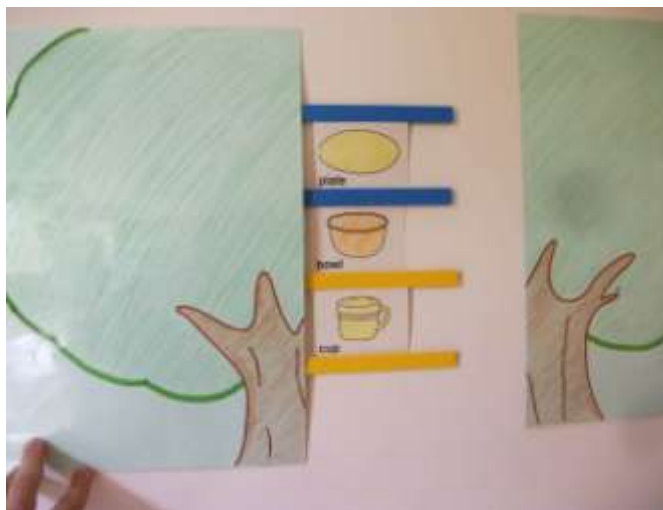


このレッスンでは、いろいろな色と食器の名前を学びます。このレッスンで一番大事なことは、食器についてではなく、いろんなものにはそれぞれ関係性があるということなのです。



例えば、ここに4色に塗られた9つの食器があります。まず、食器の名前や色について練習します。それから、その食器がどこにあるのか練習します。このレッスンの内容は、次のレッスンも使ってもう少し難しいところまでふくらませていきます。

2回目のレッスンでは、食器を隠してどの食器がどこにあったのかあてるアクティビティをします。



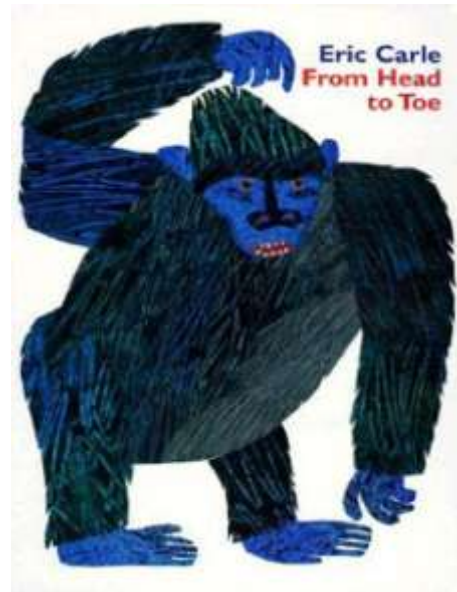
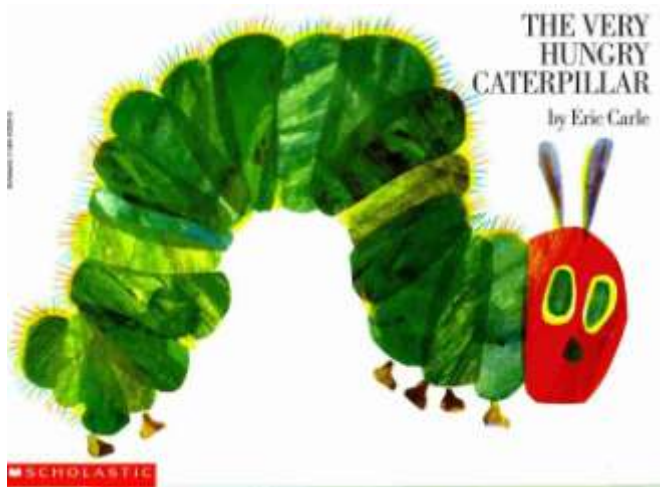
もちろん、児童が新しい単語を使ってコミュニケーションを経験することは大事ですが、担任の先生も一緒にアクティビティをすることは常に素晴らしいことです。



4年生より上の学年になっても、私は絵本を使いたいと考えています。フラッシュカードとは違って、絵本では文脈から単語の意味を想像できるので、新しい単語を紹介するときにはとても素晴らしい教材だと思います。

エリック カールの本は、学校で使うのにとても適しています。特に「はらぺこ青虫」や「あたまからつまさきまで」が私のお気に入りです。「はらぺこ青虫」は色や果物、それに青虫が蝶になるお話を勉強するのにとてもいい教材です。「きれいなちょうちょ」という似ている本もありますが、4年生にはあまり使いません。こちらの本は3年生以下の授業で使うようにしています。

「頭からつまさきまで」はとても楽しい本で、児童も私自身もとてもエネルギーを使います。この本の中には12匹の動物が出てきて、それぞれが別の動きをしています。



最後の動物はフラミンゴで、片足でバランスをとっています。この本を勉強し終えた後は、みんな汗をかいています。特にわたしが！